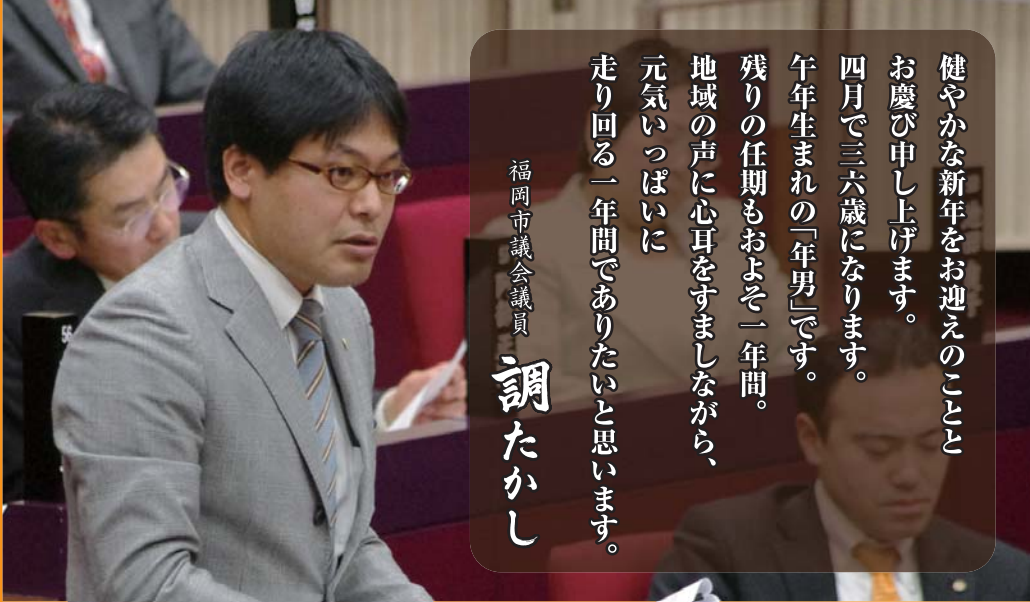


市政刷新

2014年 新春号
発行者／福岡市議会議員 調崇史（民主・市民クラブ）



すぐ動く！よく働く！
福岡市議会議員 (城南区) 調たかし

健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
四月で三六歳になります。
午年生まれの「年男」です。
残りの任期もおおよそ一年間。
地域の声に心耳をすましながら、
元気いっぱい
走り回る一年間でありたいと思います。

福岡市議会議員 調たかし

議会活動！ 12月議会で一般質問に登壇しました！

■ 西南杜の湖畔公園・エントランス予定地の活用方針を問う

西南杜の湖畔公園では、福大通り沿いのマンション跡地が現在空き地の状態になっています(写真)が、ここには公園の位置を広く知ってもらうことを目的に、エントランスが整備される計画になっています。一方で、過去にも当会報で報告したとおり、周辺地域からは大規模大会の開催時に違法駐車車両が周辺道路に溢れるなどの問題が指摘されていました。このためエントランス用地にバス駐車場を整備するよう当局と交渉してきましたが、昨年秋頃に当局がこの用地の活用について内部で一定の方針を固めたことから、周辺地域にお住まいの皆様にごその内容をお知らせする目的で、議会質問を行いました。

議会での答弁やヒアリングによれば、当局はこの予定地に商業施設を立地させ、賃料収入を得ながら公園の賑わいづくりを目指したいと考えて、現在、カフェの誘致を念頭に調整を行なっているとのこと。公園の位置がわかるようなエントランスについては簡易なものとする一方で、バスが駐車できるスペースについては数台分を確保するとしています。周辺地域は元より多くの利用者から喜ばれる公園になるよう求めていきたいと思っています。

■ 生活困窮者の自立支援の充実を

昨年末の臨時国会において、生活困窮者自立支援法が成立しました。この法律は、生活保護の受給者が全国的に増加傾向にある中で、保護の受給に陥る手前の段階でのセーフティーネットを張るために立法されたものです。

施行は平成27年度の4月の予定で、地方自治体には生活困窮者の相談に応じ、包括的に支援を行う「自立相談支援事業」や、離職により住居を失う恐れのある人などに住宅費相当の給付を行う「住居確保給付金の支給」など、新たな取り組みが求められることになります。

福岡市では昨年12月から、同法の施行に向けたモデル事業窓口として「生活困窮者自立支援センター」を開設していますが、今回の質問では、この窓口での取組方針を中心に福岡市の考え方について問いました。



■ 経営的な視点による公園の管理・運営

当局が西南杜の湖畔公園エントランス予定地で今回のような商業施設誘致を検討している背景には、市内の大規模公園の管理・運営に経営的な視点を盛り込み、収益の向上に努めるという市全体の方針があります。例えば平成24年度には東区の雁の巣レクリエーションセンターで駐車場が有料化されましたが、その収益は年間で約3900万円にも上り、野球場やサッカーグラウンドなどの使用料収入と肩を並べるほどの収入源となりました。財政難の折、区役所・市民センターなど公共施設で受益者負担の観点から利用者に駐車場料金等の支払いをお願いするケースが出ている中であって、公園もまた例外ではありません。

西南杜公園は現在のところ駐車場の有料化検討の対象ではないものの、エントランス用地は幹線道路沿いであり賃料収入を目指すべきとされたようです。



■ 生活保護に陥る前に

生活困窮者自立支援法では、先に述べた2つの事業が必須事業として位置付けられていますが、これとは別に自治体毎の判断で取り組む任意事業として就労意欲の喚起などを内容とした「就労準備支援事業」や、生活困窮者の財政的な生活再建の相談に応じる「家計相談支援事業」などが挙げられています。

福岡市のモデル事業窓口では現在のところ任意事業への取り組みを行っておらず、他自治体との比較でも見劣りする感が否めません。

今回の質問では、生活保護受給者に対する就労支援プログラムで既に就労意欲の喚起につながる事業が行われていることに対し、保護受給に陥らないための生活困窮者自立支援制度において同様の取り組みをしないことの不整合性を指摘したほか、多重債務などに苦しむ生活困窮者のケースを想定すれば、生活再建に向けた家計上の相談はそれなりのニーズが見込まれることから、今後は積極的に取り組むべきことを主張。当局から前向きな答弁を得ました。

生活保護の受給よりも前に生活再建の道を開くことが財政的な観点からも重要な取り組みと言えます。

クローズアップ 子育て・教育に関する最近の話題

■ 待機児童の解消に幼稚園の活用！

12月議会の本会議や、私が所属する第2委員会での審議において待機児童解消のあり方が大きな議論を呼びました。高島市長は平成25年度予算の発表にあたり平成26年度当初の待機児童ゼロを確約しましたが、12月末の段階では350人分の保育所が不足していました。このため、200人の子どもを幼稚園に引き受けてもらうことを計画し、補正予算が計上されました。一方で幼稚園が引き受けるのは1～2歳児で、多くの保育士の人手を要することから、ただでさえ保育士不足が叫ばれる現状で計画の実現が可能なのか判然としません。そもそも



保育所不足の問題を幼稚園に持ち込むこと自体、場当たりの印象を受けます。

待機児童解消は数合わせでなく内容こそが重要で、安心して預けられないのでは安心して働けません。この点は声を大にして訴え続けます。

■ 市内の小中学校の全教室にエアコン設置検討

12月議会の審議を受けて一部メディアで報道されましたが、福岡市は平成27年度から3年間で市内の全小中学校の全教室にエアコンを設置する方向で検討を始めました。平成26年度には十数校程度で先行して設置。残る学校は翌年度から順次設置する考えのようです。



市内の小中学校では夏場の暑熱対策が問題になっており、第2委員会でも、教室によっては室温が40度近くなるケースもあるなどの調査結果が議論を呼んでいました。一方で、近年ではPM2.5などの影響に対する懸念から、授業中などに窓を開けておくことにも慎重にならざるを得ません。エアコンは夏場の暑熱対策のみの利用が想定され、冬場は使わない方向のようです。学力面などでプラスの効果が得られることを期待したいと思います。

地域活動 年末・年始の活動レポート

年末・年始にかけては多くの地域行事などに参加し多くの皆様との交流の中から、これからの活動や福岡市政に役立てるべき情報を頂きました。地域との交流は活動の原点です。今年も色々なイベントに参加して、皆様と一緒に汗をかき、楽しみながら、声を集めていきたいと思っています。



福博そうつく記

それにつけても気になる都知事選挙の行方

私が日頃の活動の中で気づいた福岡市のちよつという話を紹介している「福博そうつく記」ですが、今回は全国の耳目を集めている東京都知事選挙について述べたいと思います。

一部メディアでは細川・小泉元総理連合の掲げる「脱原発」路線が事実上選挙の争点となりつつあるように感じますが、もしそうならば、国のエネルギー政策の大きな方向性を有権者が決める選挙になると思います。もちろん、我が国の重要な首都機能を果たす東京都ですから、直下型地震への備えも議論が必要でしょうし、オリンピックの成功に向けた取り組みは全国民のために頑張ってもらわなければなりません。

是非とも活発な政策議論に多くの有権者が耳を傾け、高い投票率の選挙結果でリーダーが選ばれることを期待します。民主主義の原点は有権者の一票です。

しらべ たかし 調崇史 プロフィール

1978年 4月17日生 35歳

- 1978年 ● 福岡市生まれ
- 1991年 ● 七隈小学校卒業
- 1994年 ● 梅林中学校卒業
- 1997年 ● 修猷館高校卒業
- 2002年 ● 九州大学法学部卒業
- TNCテレビ西日本入社
- 2010年 ● 同社退社
- 2011年 ● 福岡市議選初当選
- 現在、金山団地在住 妻と3女



ツイッター・フェイスブックなどと連動したサイトで、日々の活動の様子を紹介しています。
また、オフィシャルサイトからは市政に対するご意見を送れます。皆様の声を聞かせて下さい！



www.t-shirabe.net/

調たかし 市政相談所

ぜひ、お立ち寄りください

〒814-0131
福岡市城南区松山2-5-5
志のぶビル201号
※市営地下鉄 金山駅から徒歩3分
七隈本町バス停から徒歩1分
TEL:092-834-9984
FAX:092-834-9983
mail:info@t-shirabe.net

調たかし

検索